

# 2015年3月期 決算説明会

2015年 5月13日



**日本ガイシ株式会社**

**NGK INSULATORS, LTD.**

## 本日のプレゼンテーション

- 2015年3月期 連結決算概要
- 2016年3月期 連結業績見通し
- セグメント別業績見通し
- 設備投資・減価償却費
- 重点課題、新製品売上高比率（2017 Challenge 30）
- 新製品、研究開発
- 財務状況

(億円)	14年3月期	15年3月期	前期比
売上高	3,087	3,787	+23%
営業利益	443	616	+39%
経常利益	458	611	+33%
特別損益NET	▲79 *1	▲47 *2	
当期純利益	270	415	+53%

\*1 減損損失▲54億円、  
中国がいし子会社清算損▲29億円他

\*2 競争法関連損失引当 ▲93億円  
持分変動利益 +35億円他

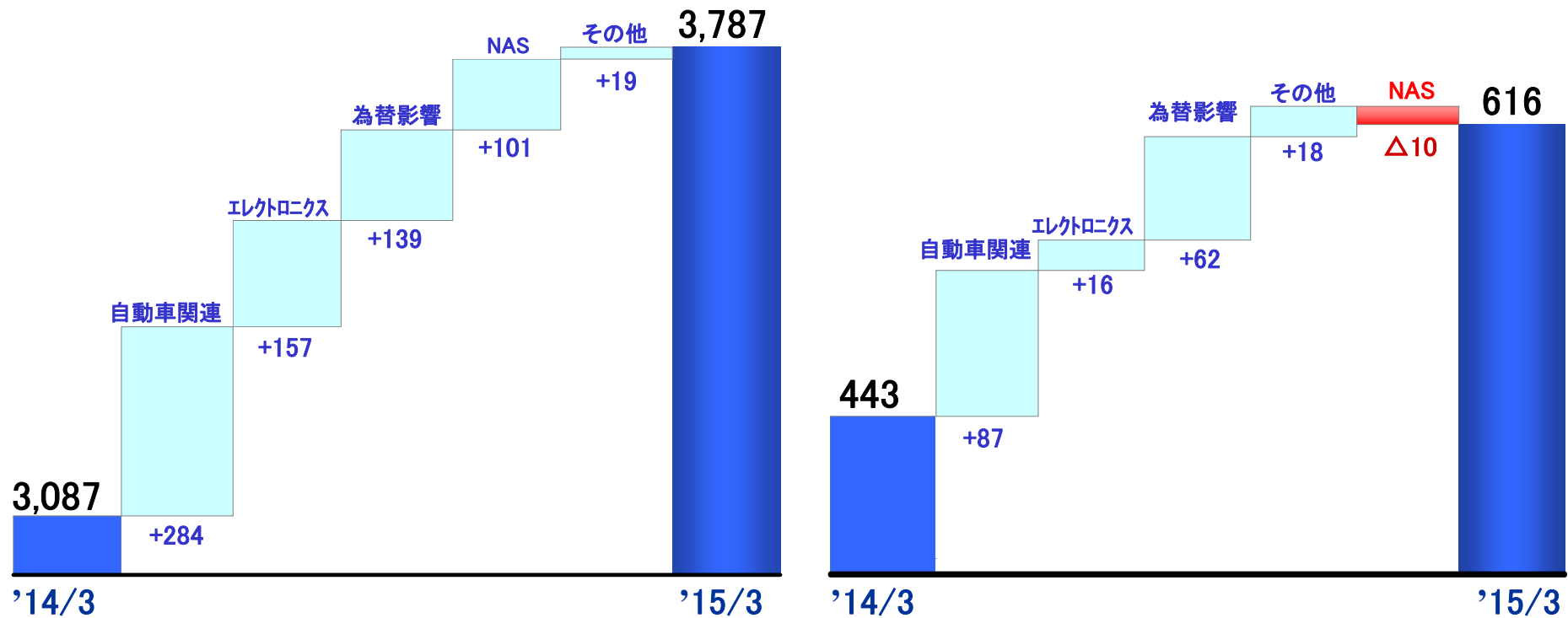
前期比増収増益 売上高は過去最高<sup>\*3</sup>を更新 <sup>\*3</sup> 2008年3月期  
3,649億円

- セラミックス 米国・欧州・中国市場の乗用車販売や日米トラック販売が堅調に推移し自動車関連製品の需要が増加
- エレクトロニクス 半導体製造装置用セラミックス製品の需要が増加  
2015年1月に買収したNGKエレクトロデバイス(旧:日鉄住金エレクトロデバイス)の1~3月期業績を反映
- 電力関連 N A S<sup>®</sup>電池 海外大口案件出荷により増収。がいし黒字化。

売上高

営業利益

(億円)



	'14/3	'15/3
為替レート	100円 /USD 134円 /EUR	110円 /USD 139円 /EUR

	(億円)	15年3月期	16年3月期	前期比
売上高		3,787	4,200	+11%
営業利益		616	680	+10%
経常利益		611	690	+13%
当期純利益		415	480	+16%

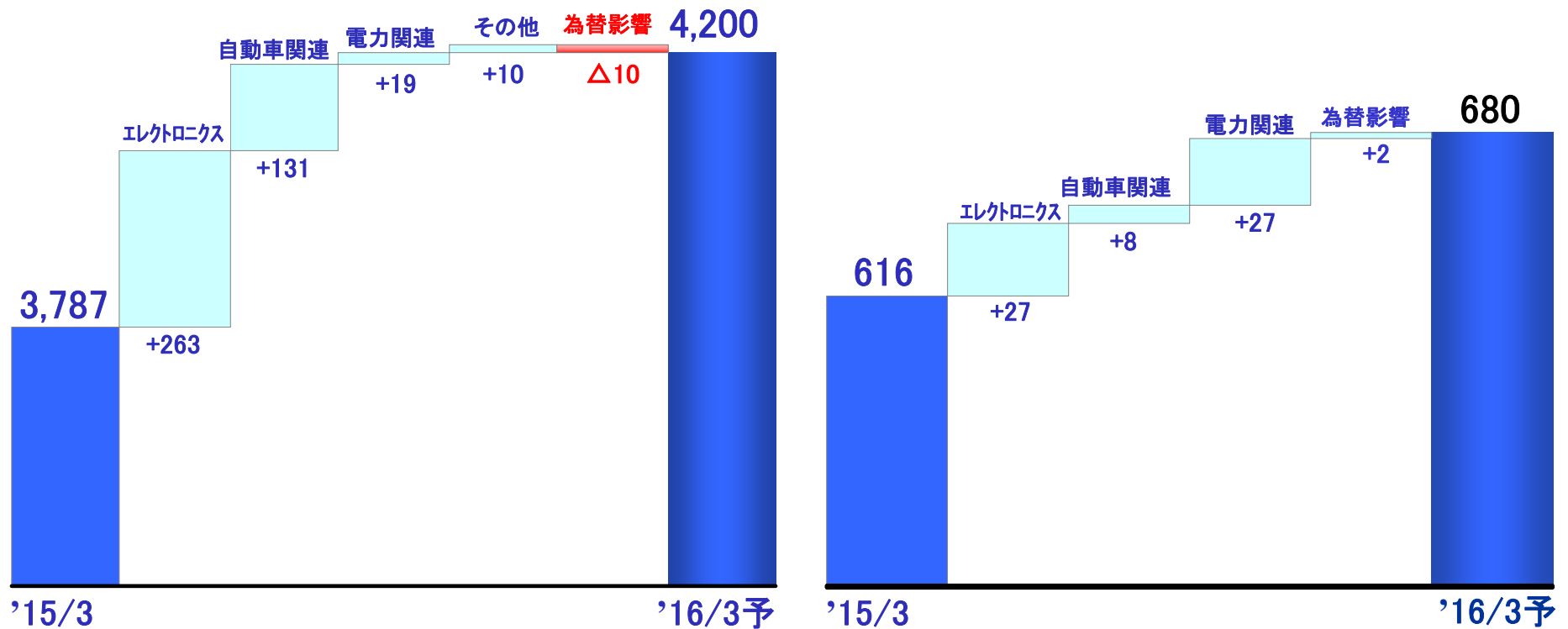
## 4期連続 増収増益

- セラミックス
 米・欧・中の乗用車販売堅調。新興国の販売回復や排ガス規制強化が寄与し、自動車関連製品の需要が増加。増産投資の費用が先行し利益は小幅増益に留まる。
- エレクトロニクス
 パッケージ事業の業績が通期で寄与し増収増益。
- 電力関連
 コストダウン等によりブレークイーブンを目標。

売上高

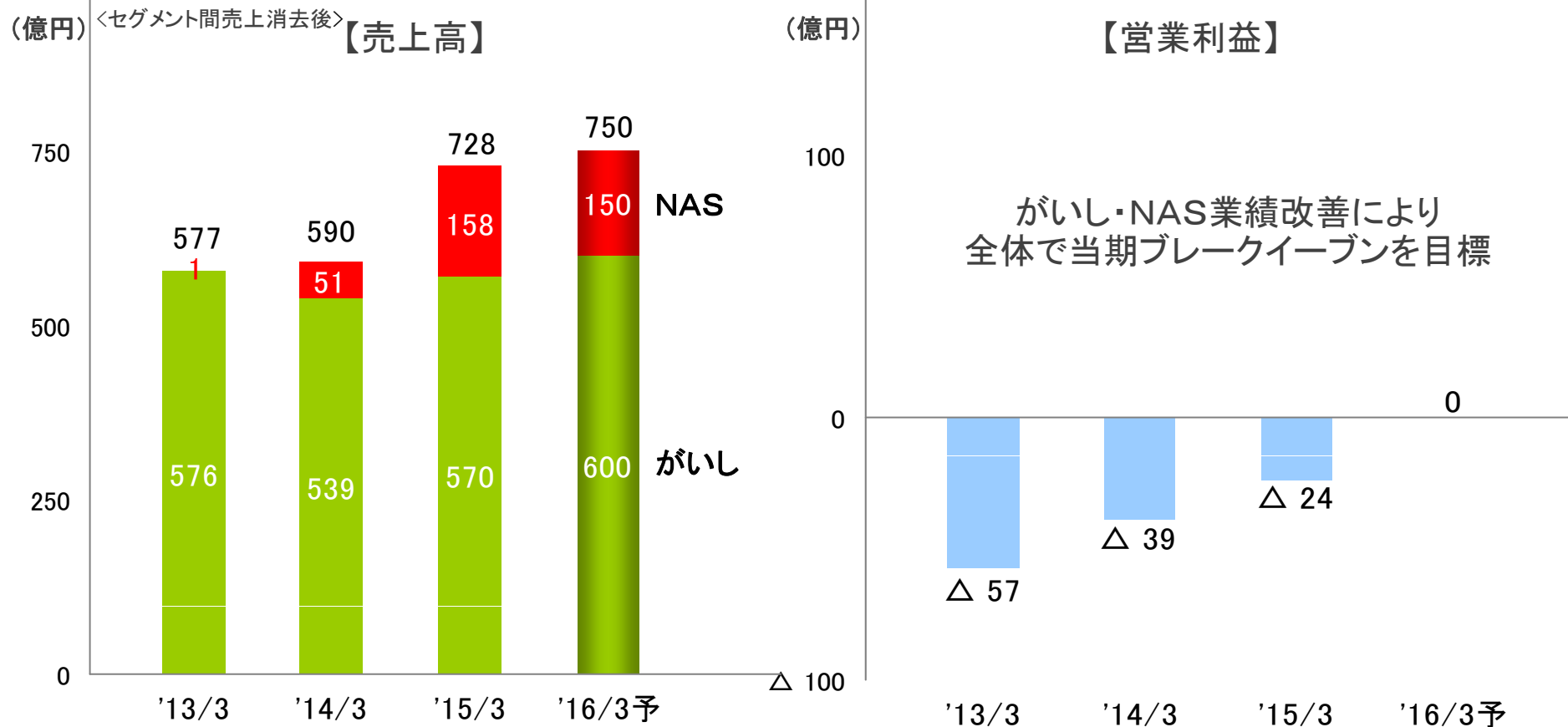
営業利益

(億円)



	'15/3	'16/3予
為替レート	110円 /USD 139円 /EUR	115円 /USD 125円 /EUR

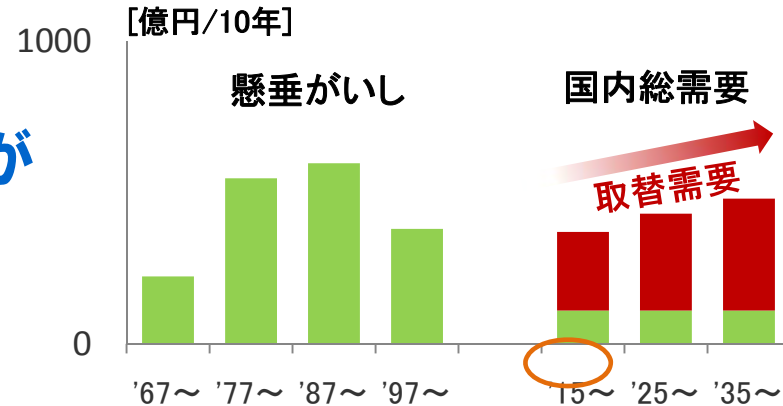
- がいし
  - ・海外は北米・中近東・東南アジアなど引き続き堅調。
  - ・国内電力会社の設備投資は回復基調。高度成長期以降に設置したがいしの取替需要が徐々に増加。取替需要の取り込みと更なるコストダウンにより収益拡大を図る。
- NAS
  - ・前期に続き海外大口案件の出荷を予定。
  - ・本格的な需要立ち上りは再生可能エネルギーが普及する2020年頃となる見込み。蓄電池導入の制度化を働きかけ継続的な受注獲得を目指す。
  - ・コンテナ型パッケージの導入等によりコストダウンを推進する。



国内で高度成長期以降に設置した がいしの取替が本格化



がいしの取替需要が  
今後拡大

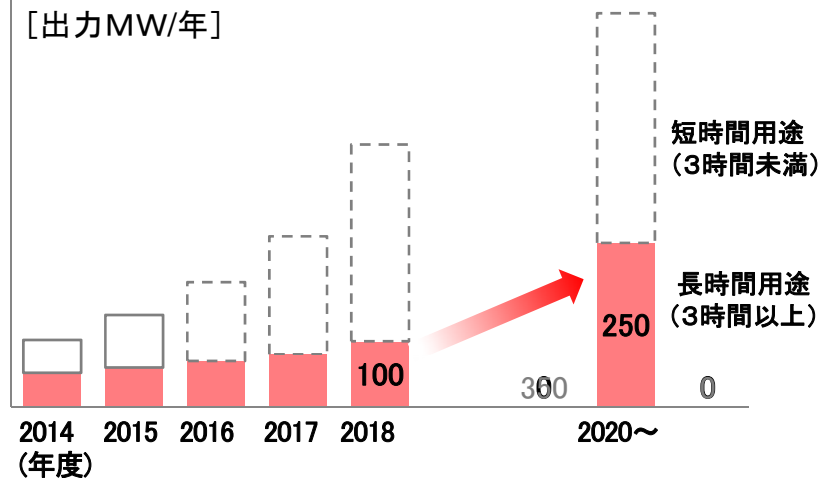


再生エネルギーの導入増加で系統安定化対策の必要性が高まる

NAS®電池の  
将来需要に期待

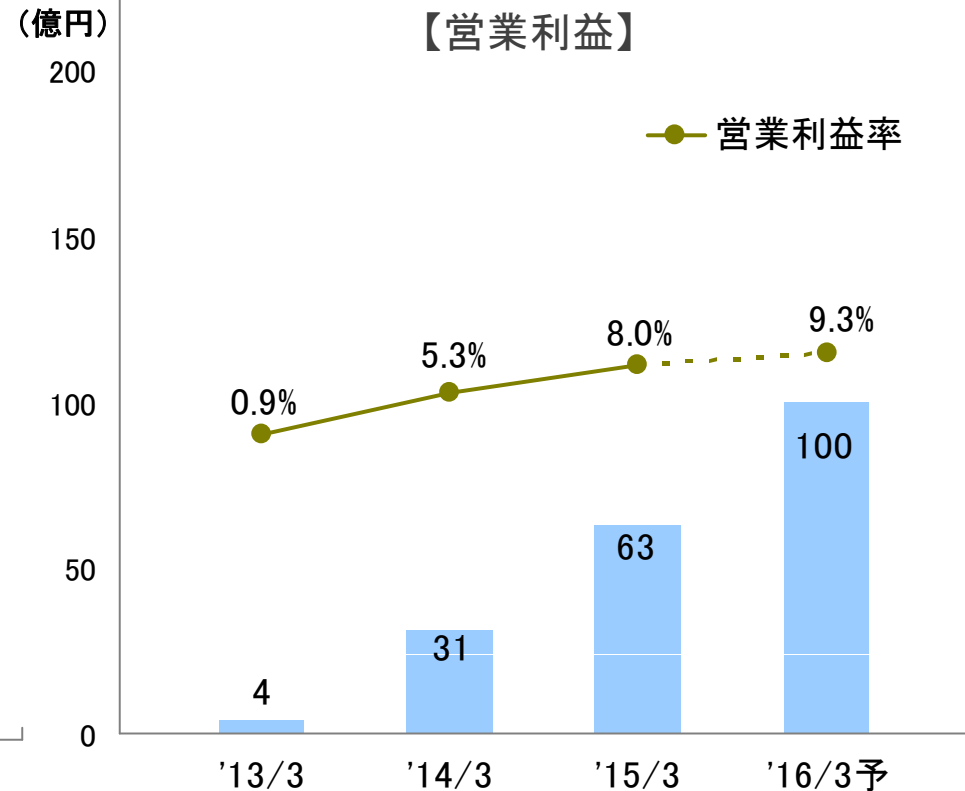
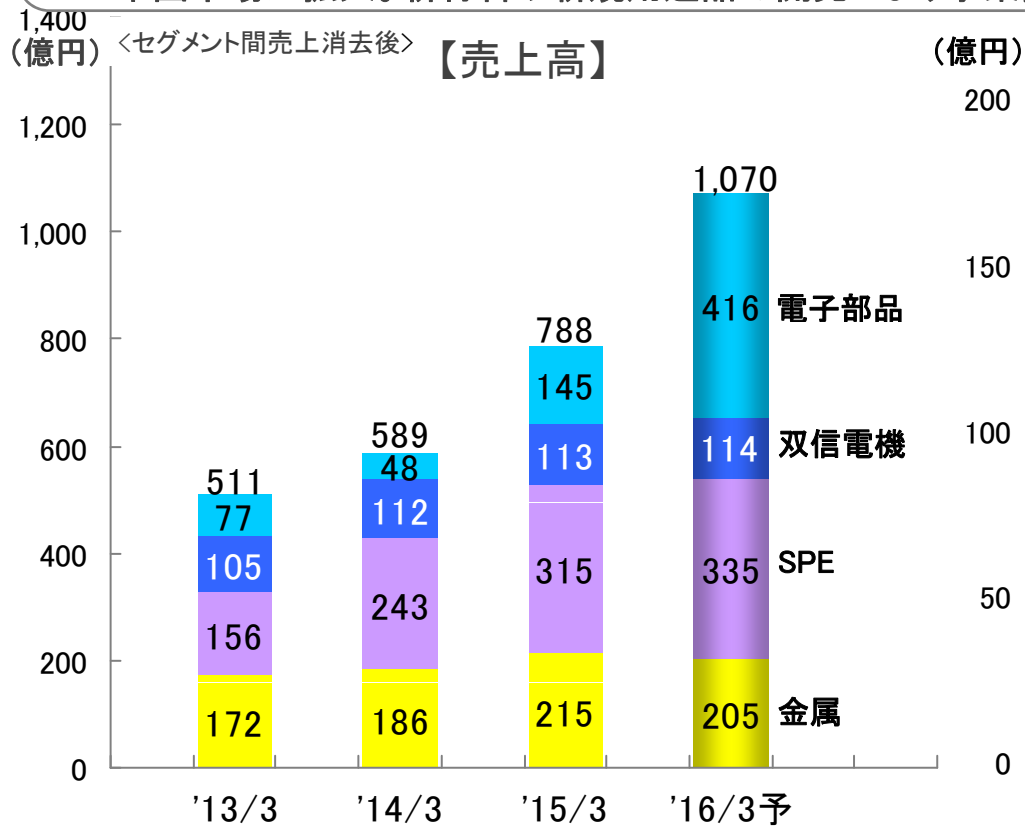


■大型蓄電池の世界市場規模



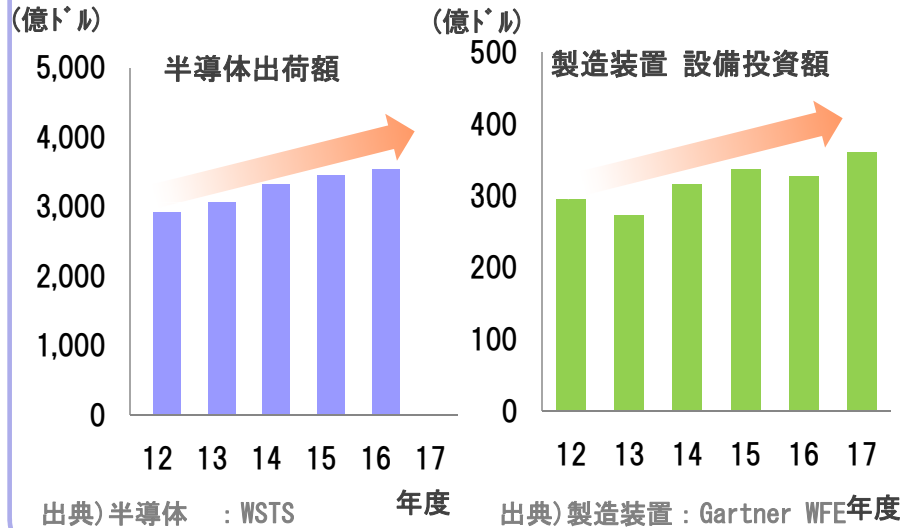


- **電子部品**
  - ・2015年1月に買収したパッケージ事業を全年で反映し大幅増収。  
シナジー効果を創出し、成長分野で収益拡大を図る。
- **半導体製造装置用セラミックス(SPE)**
  - ・モバイル製品市場の拡大を背景に需要増。
  - ・製品の高性能化と革新製法の確立によるコストダウンに注力。
- **金属**
  - ・中国市場が拡大。新材料や新規用途品の開発により事業拡大を目指す。



マーケット 半導体製造装置用セラミックス製品

モバイル製品の増加、半導体の需要増を背景に  
半導体装置の需要は高水準を維持



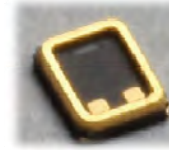
M&A

パッケージ事業

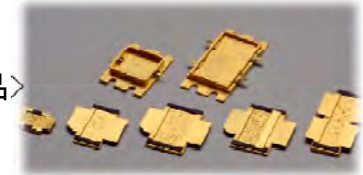
2015年1月5日にNGKエレクトロデバイス株式会社  
(旧社名 日鉄住金エレクトロデバイス株式会社)を買収

水晶デバイス保護用  
セラミックパッケージ

RFパッケージ  
携帯通信基地局  
高周波パワーアンプ



<主要製品>



NGKエレクトロデバイス  
多品種・量産技術

日本ガイシ  
材料技術・高精度生産技術

シナジー効果

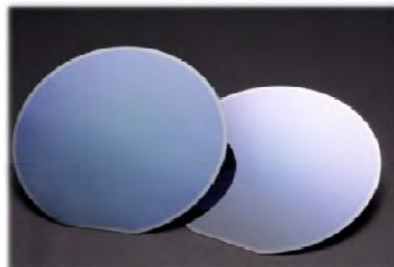
成長分野で収益拡大を図る

CMOSイメージセンサー用、超小型水晶、光通信デバイス用 各種パッケージ

新製品

ウエハー新製品群の拡充

SAWフィルター用  
複合ウエハー



LTEの普及で  
温特改善SAWフィルターの  
需要が増加

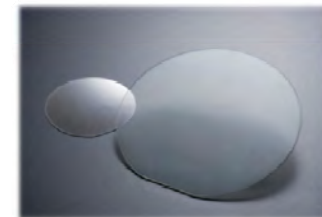
透光性アルミナウエハー  
(ハイセラム™ウエハー)



【適用先】

- ・高周波デバイス  
サファイア基板やアルミナ基板の  
代替用途

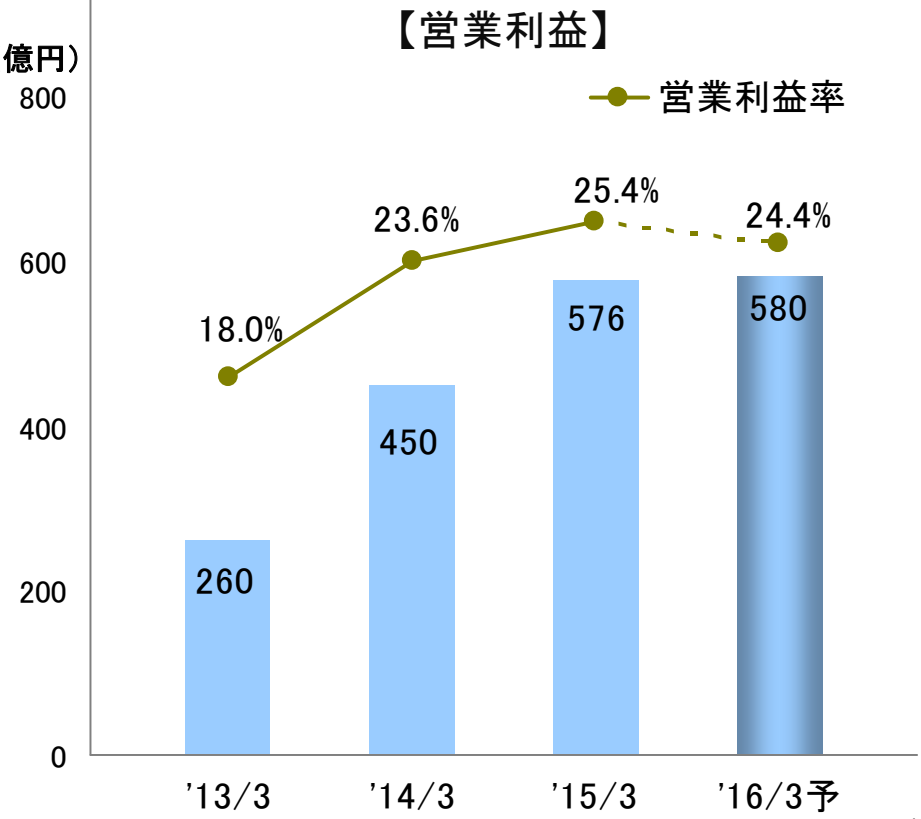
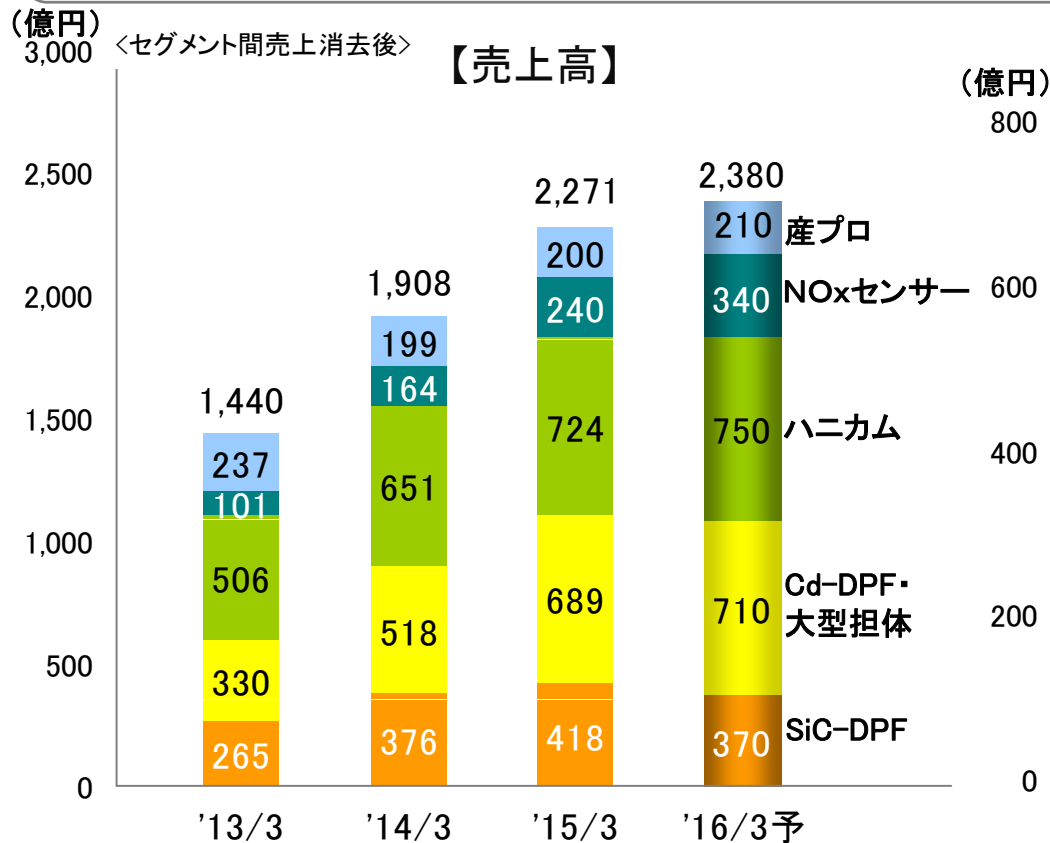
窒化ガリウム  
(GaN)ウエハー



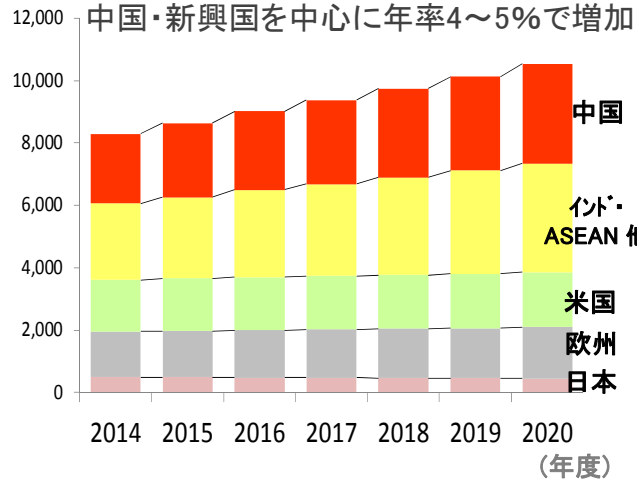
【適用先】

- ・超高輝度LED素子
- ・高出力 青色・緑色レーザー
- ・次世代パワー半導体

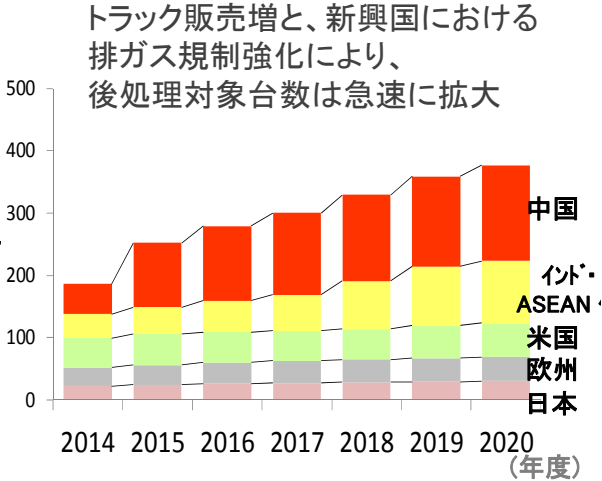
- 自動車関連
  - ・乗用車販売は米国・欧州・中国で堅調。新興国も回復し、ハニカムの需要が増加。
  - ・トラック販売は各国で増加。中国の排ガス規制強化(国4)も本格化し、大型担体の需要増。
  - ・ディーゼル乗用車の一部でCd-DPFからSiC-DPFへの切り替えあり、Cd-DPFは一時的に需要減。
  - ・欧州ディーゼル乗用車へのEuro6適用拡大によりNOxセンサーの需要が大幅に増加。
  - ・増産投資に伴う費用が先行し、増益は小幅に留まる。
- 産業プロセス・医薬・電子・化学分野の景況改善により国内の設備投資は回復傾向。事業再構築を進め収益改善を図る。



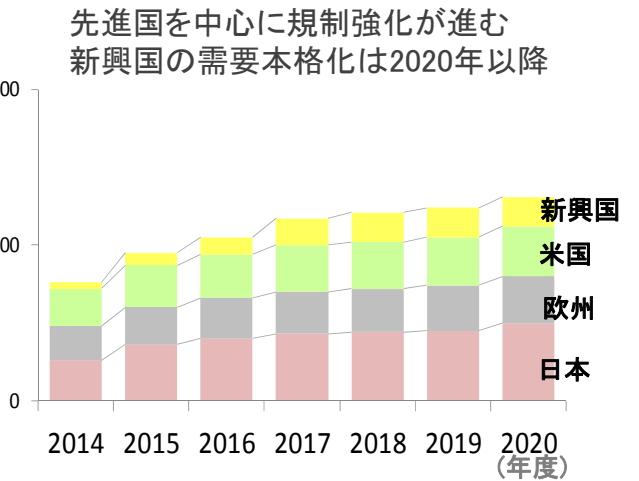
## 乗用車販売台数推移 (万台)



## トラック後処理対象台数推移(万台)



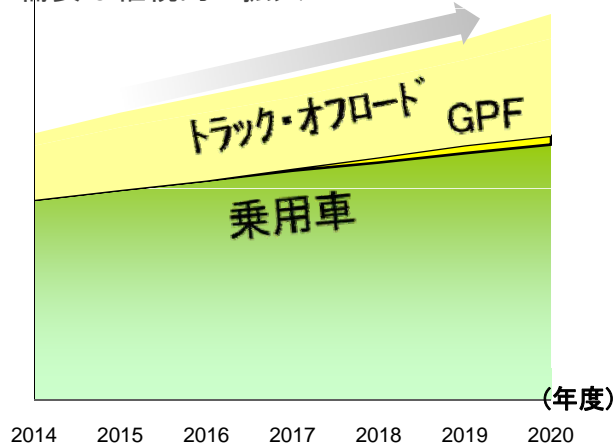
## オフロード後処理対象台数推移(万台)



## 製品総需要見通し

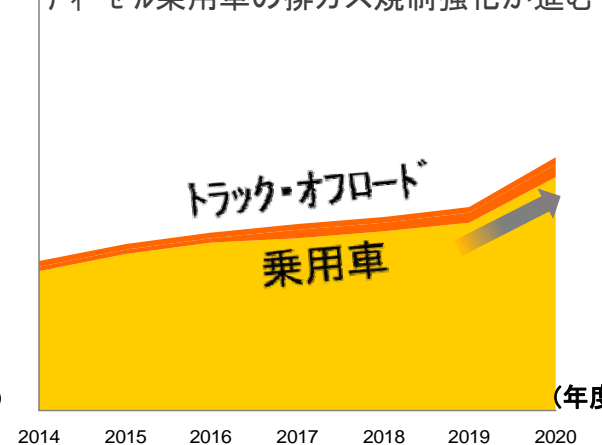
(容積) **ハニカム** **Cd-DPF・大型担体**

販売台数増と排ガス規制厳格化を背景に需要は継続的に拡大



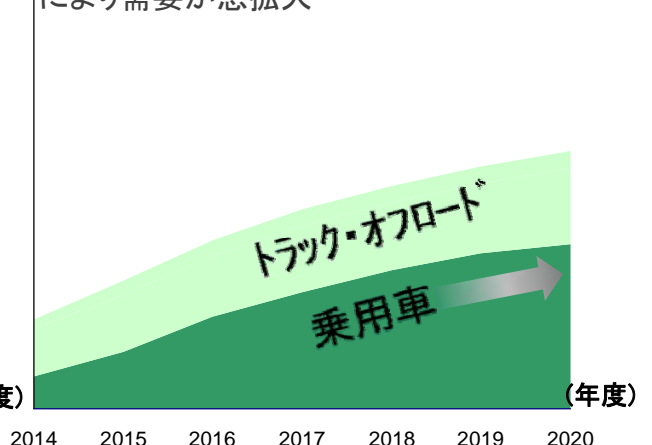
(容積) **SiC-DPF**

2020年に向けて新興国(インド、東南アジア)でディーゼル乗用車の排ガス規制強化が進む



(本数) **NOxセンサー**

欧州ディーゼル乗用車へのEURO6適用拡大により需要が急拡大



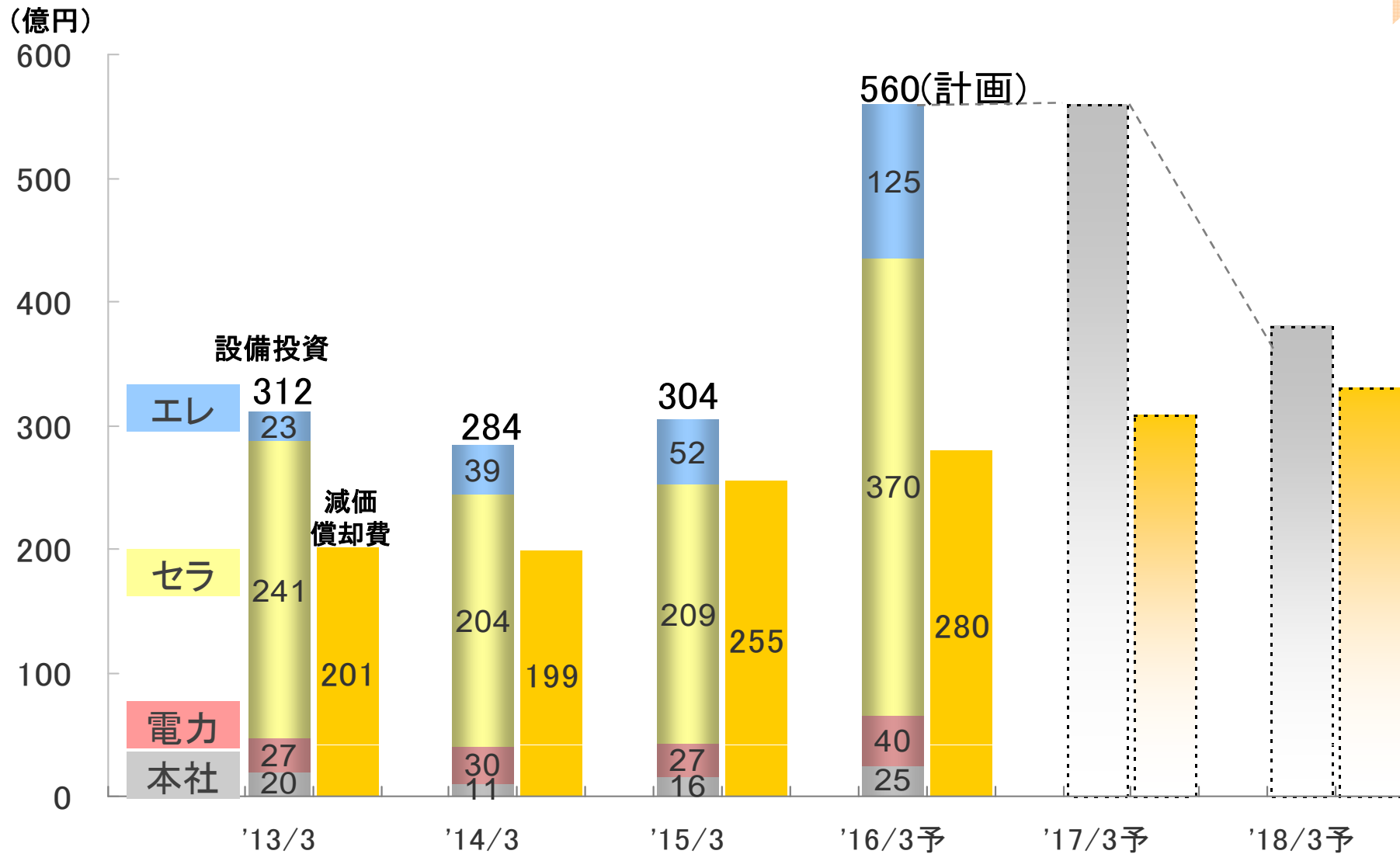
中長期的に世界的に需要が拡大⇒グローバル生産体制の強化

\* 赤字は新規の設備投資



ポーランド第2工場(SiC-DPF)・石川工場(NOxセンサー)の新設を決定  
東南アジアの新拠点設立検討を含め、各地で更なる能力増強を進める

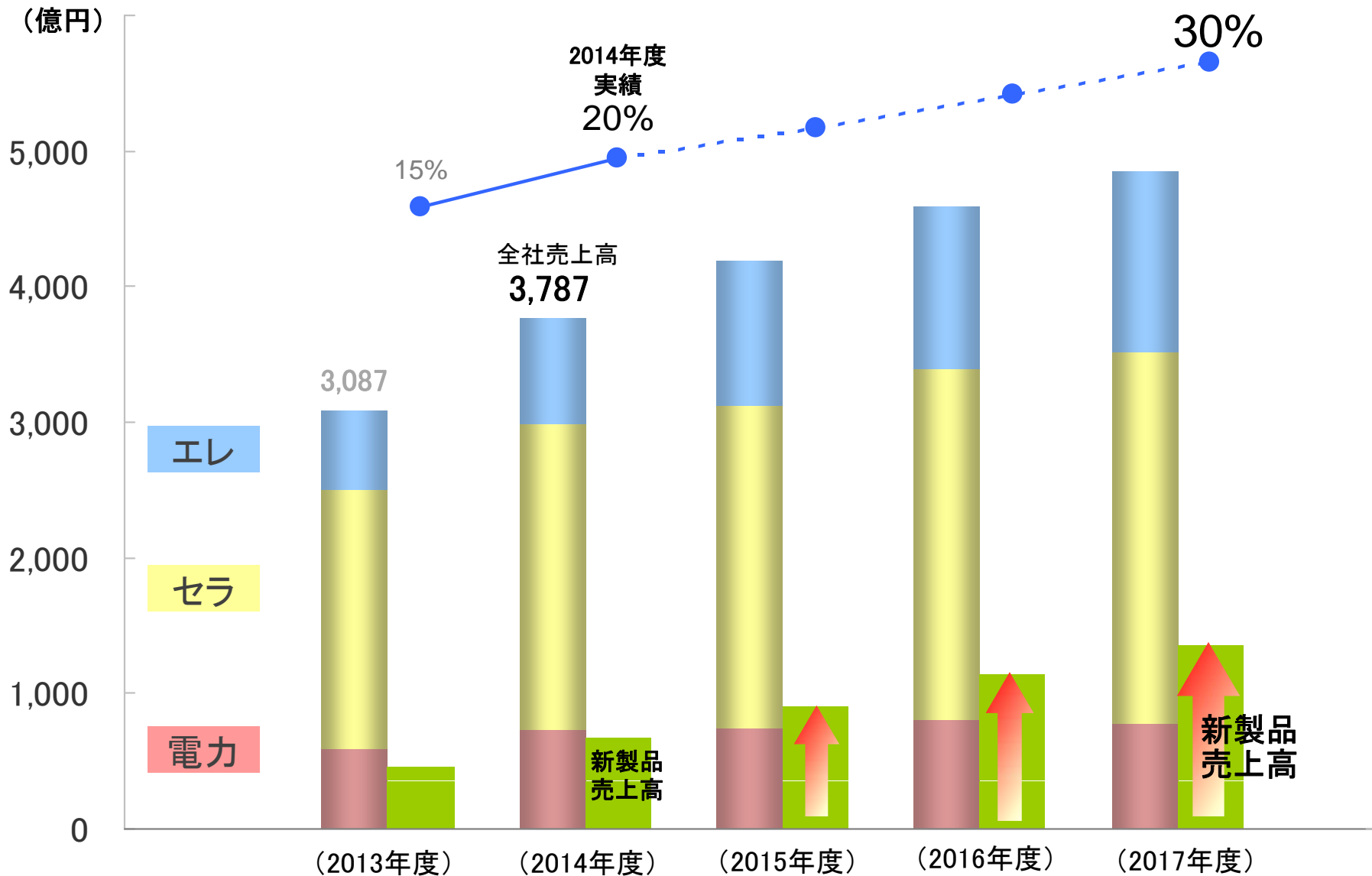
3年間で計1,500億円規模の設備投資計画





世界に通用する真のグローバル企業を目指す

2017年度の新製品売上高比率を30%まで引き上げる





## 亜鉛二次電池

新規開発したOHイオン伝導性セラミックス材料をセパレータに用い、亜鉛二次電池の開発を本格化。プロジェクトチームを新設。

- ・OHイオンのみを通すセラミックスをセパレータに用いることにより、亜鉛二次電池の実用化を阻害していた負極亜鉛デンドライトによる短絡問題を解決。
- ・NGK独自技術を用いた亜鉛二次電池は、大容量、常温作動可能で、水系電解液を使うため安全性が高く、設置場所自由度が高い。

分散電源、蓄電池、ICTを活用したスマートエネルギー社会において、住宅やビル・病院・商業施設などの安全性と高容量が要求される用途に最適な小～中規模用蓄電池

用途



戸建住宅



コンビニ・商業施設

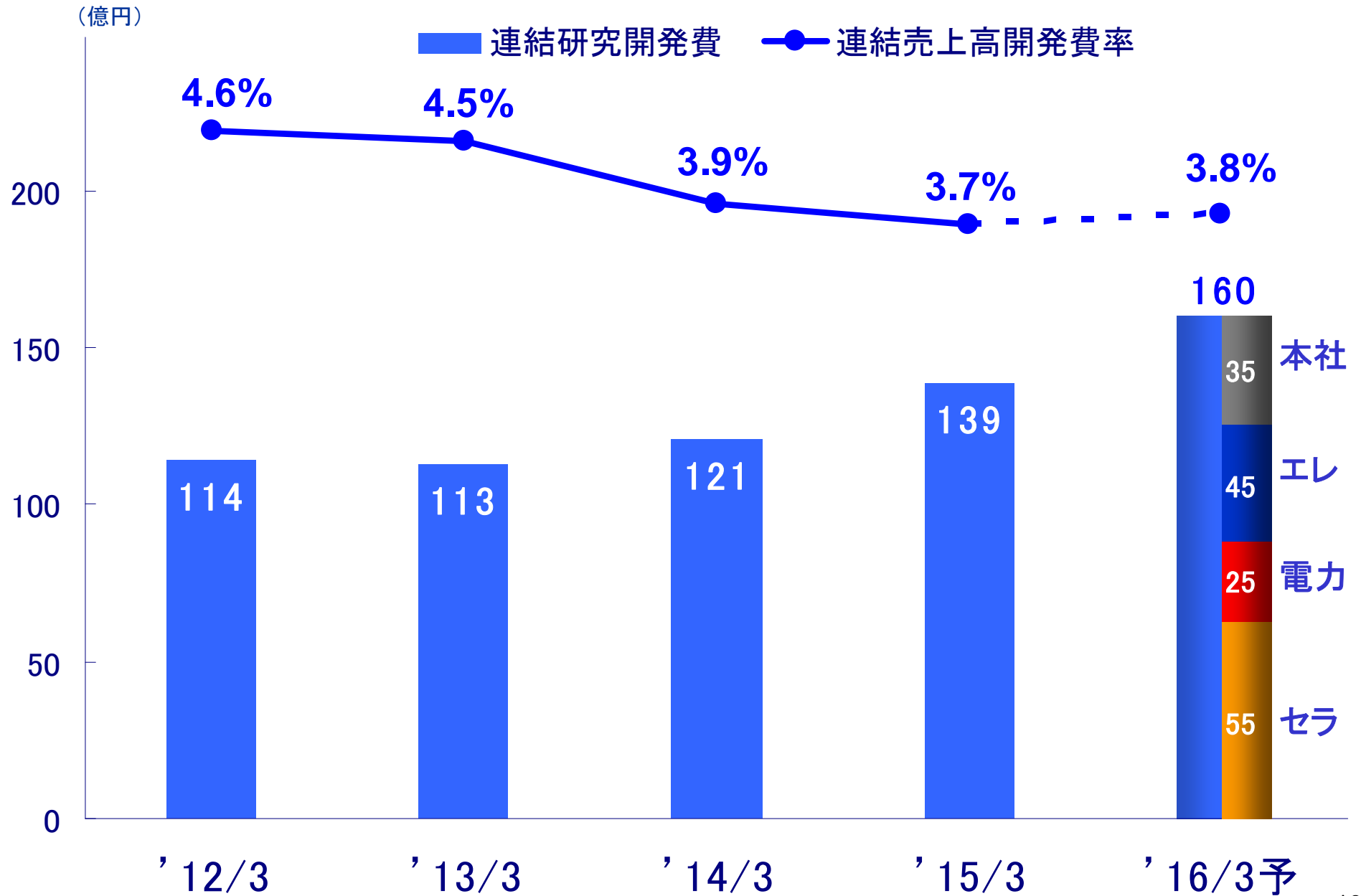


ビル地下



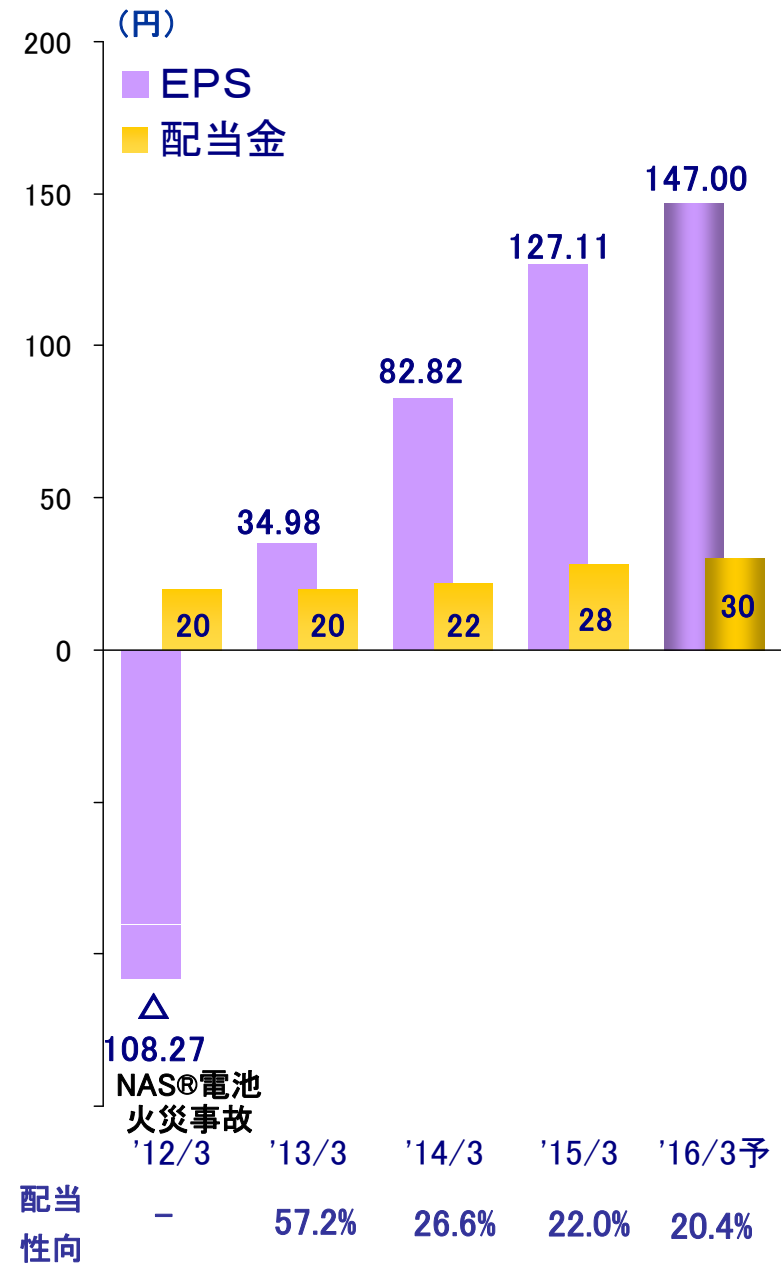
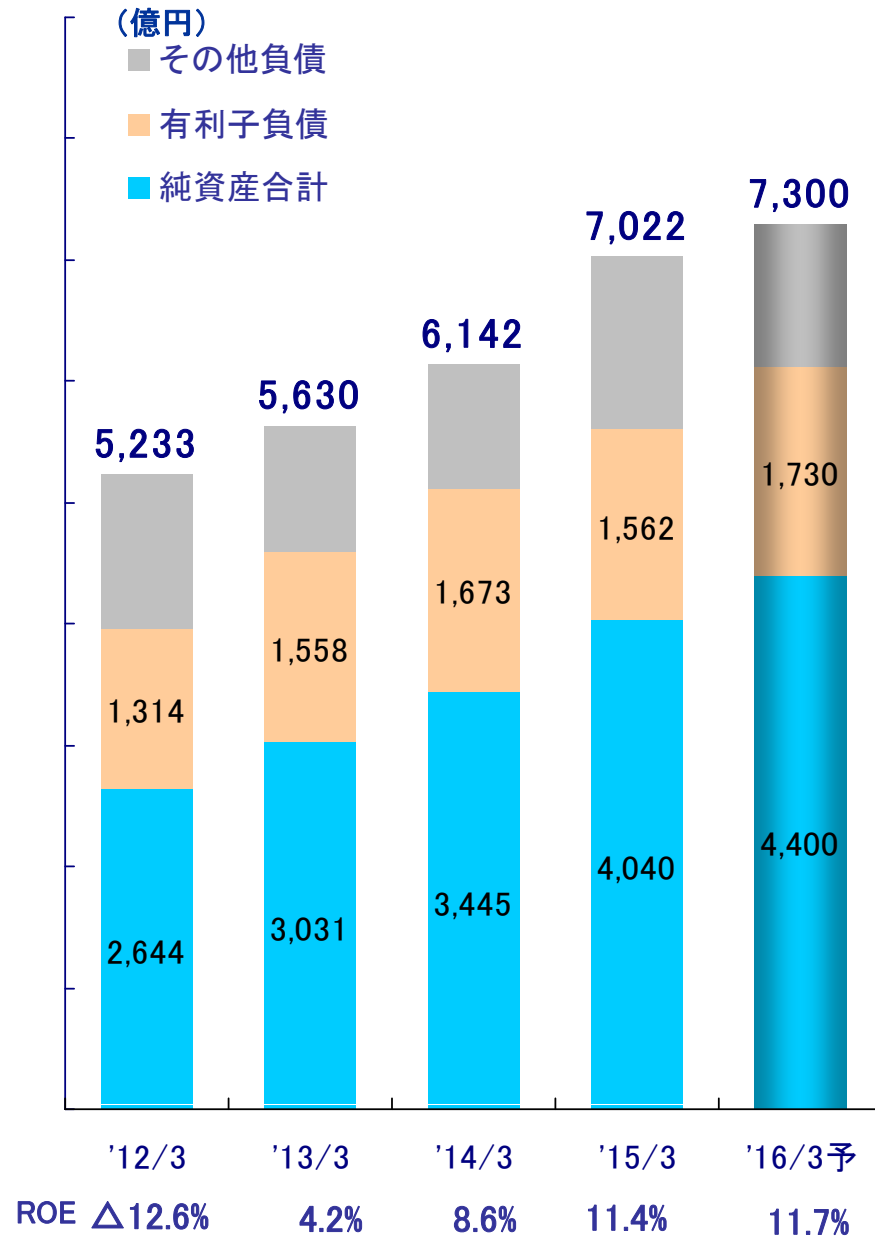
今後

電池の大型モジュール化技術を今年度中に確立。長期信頼性を実証し、2017年度の製品化を目指す。



(億円)

	' 14/3	' 15/3	' 16/3予
営業活動によるキャッシュ・フロー	326	730	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△212	△395	△590
財務活動によるキャッシュ・フロー	20	△260	100
現金及び現金同等物に係る換算差額等	34	13	△10
現金及び現金同等物の増減	169	88	100
現金及び現金同等物期末残高	1,198	1,286	1,386



&lt;セグメント間売上消去後&gt;

(億円)

	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期
が い し	576	539	570	600
N A S	1	51	158	150
電力関連合計	577	590	728	750
ハ ニ カ ム	506	651	724	750
S i C - D P F	265	376	418	370
Cd-DPF・大型ハニカム	330	518	689	710
セ ン サ ー	101	164	240	340
産業プロセス	237	199	200	210
セラミックス合計	1,440	1,908	2,271	2,380
金 属	172	186	215	205
半導体製造装置セラミックス	156	243	315	335
電 子 部 品	77	48	145	416
双 信 電 機	105	112	113	114
エレクトロニクス合計	511	589	788	1,070
全 社 合 計	2,528	3,087	3,787	4,200

&lt;セグメント間売上消去後&gt;

(億円)

	15年3月期		16年3月期	
	上期	下期	上期	下期
が い し	267	303	290	310
N A S	15	143	110	40
電力関連合計	282	446	400	350
ハ ニ カ ム	351	373	375	375
S i C - D P F	204	214	195	175
Cd-DPF・大型ハニカム	320	369	350	360
セ ン サ ー	114	126	160	180
産業プロセス	77	123	90	120
セラミックス合計	1,066	1,205	1,170	1,210
金 属	107	108	100	105
半導体製造装置セラミックス	144	171	165	170
電 子 部 品	24	121	210	206
双 信 電 機	58	55	55	59
エレクトロニクス合計	333	455	530	540
全 社 合 計	1,680	2,107	2,100	2,100

本資料は当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。



**日本ガイシ株式会社**

〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 開示グループ

Tel. (052) 872-7210 Fax. (052) 872-7160

E-mail: [ir-office@ngk.co.jp](mailto:ir-office@ngk.co.jp)

Website: <http://www.ngk.co.jp>